

議 会 だ よ り



やまもと

Vol.206

令和6年8月1日発行



初夏を彩るバラの花（戸花山バラえん）

第2回定例会

会期 6月6日
～6月13日

第2回臨時会

会期 6月24日

目 次

●定例会概要	P2
○一般質問（質問議員7人）	P3～10
●その他議案・臨時会	P11～12
○委員会報告	P13
●議案審議結果	P14
○会議等出席状況	P15

一般質問 我が町政を問う

一般質問大綱一覧

- 高橋 真理子 議員 P4
- ★1 魅力ある町づくりについて
 - ★2 職員の職場環境等について
- 伊藤 貞悦 議員 P5
- ★1 「地区懇談会」で出されたこれからの「町づくり」について
 - ★2 20年30年後の「町づくり」について
- 大和 晴美 議員 P6
- ★1 ヒトパピローマウイルス（HPV）感染症を防ぐワクチンについて
 - ★2 空き家対策について
- 岩佐 秀一 議員 P7
- ★1 河川管理について
 - ★2 害虫駆除支援について
- 齋藤 俊夫 議員 P8
- ★1 ハラスメント対策の強化による町のイメージアップについて
 - ★2 組織力を活かした町政運営の展開について
 - 3 真摯な議会対応による合意形成と信頼関係について
- 岩佐 孝子 議員 P9
- ★1 行ってみたい、来てみたい、そして住みたくなる町づくりについて
 - ★2 さらなる町の知名度アップについて
- 遠藤 龍之 議員 P10
- ★1 町営住宅の取り組みについて
 - ★2 第6次山元町総合計画の取り組みについて
 - 3 学童保育の取り組みについて

※スペースの都合上、質問項目の前に「★」が付いている内容のみ掲載しております。
掲載項目以外の内容の詳細は、右のQRコードから録画映像をご覧ください。➡



○一般質問とは

町の行政全般にわたり、状況や見通しを聞き疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。

令和6年 第2回定例会

定例会概要

第2回定例会は、6月6日から13日までの8日間の日程で開催されました。
今回の会議は、町長提出議案27件（報告6件、承認9件、補正予算・条例等議案12件）を審議し、議案第23号山元町茶室条例については、産建教育常任委員会の継続審査とし、その他の議案は原案通り可決しました。
また、7人の議員が、町長に今後のまちづくりや町政運営の取り組みについて一般質問を行いました。

一般会計補正予算概要

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う、会計年度任用職員や町任期付職員への職員手当増額や、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」等に基づく各種支援策に係る経費が計上されました。
その他の歳出予算として、幼保連携型認定こども園施設整備事業費補助金やスマートフォン等で各種行政手続きが実施できるようにするための経費等、合計で3億12万円の増額となりました。

主な事業

○定額減税事業（調整給付金）	1億1,000万円
○住民税非課税世帯臨時特別給付金事業	4,000万円
○新型コロナウイルスワクチン予防事業（65歳以上）	2,937万円

副議長選挙

定例会の冒頭に、5月20日に逝去された、故 岩佐哲也前副議長に黙とうし、議員を代表して、竹内和彦議員が追悼演説を行いました。
その後副議長の選挙が実施され、伊藤貞悦議員が新たに副議長に当選しました。



伊藤貞悦 副議長

議員の訃報

故 岩佐哲也前副議長が、5月20日に逝去されました。
岩佐哲也氏は、平成23年に初当選し、4期にわたり町議会議員としてご活躍されました。
町民の福祉向上と町の復興のため尽力し、副議長のほか、議会議長、山元町監査委員などの要職を歴任され、町政に多大な貢献をされました。
ここに哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈りいたします。



故 岩佐哲也 前副議長

「消滅可能性自治体」から脱却

町長 生き生き・ワクワクする取り組みを

問 若者や子育て世帯に選ばれる町としての施策を伺う。

答 快適な居住環境の計画として昨年3月に、新市街地を中心とした区域に住居系の用途地域を本町で初めて指定した。今年度から既存市街地にも居住誘導区域等の指定に取り組む。元坂中跡地についても、分譲宅地として整備するための具体的な検討を今年度から進める。

問 今年度から3年間

の不妊検査と不妊治療に係る、補助制度の本町の取り組みは。

答 不妊検査には夫婦1組に上限3万円、不妊治療は1回当たり上限5万円を助成する。件数はそれぞれ5件と延べ20件分を想定している。

問 企業誘致など働く場の確保については。

答 企業誘致においては、本町に整備された工業団地はないが沿岸部の非農地、町有地への誘致や町内の企業を

訪問し、現状調査等積極的に取り組んでいる。本町の有効求人倍率は高いのだが、企業は地元の従業員確保に苦慮している。その検証もしていく。

問 「スモールビジネス」に補助金を出すなど、官民一体で取り組み、移住者を大幅に増やした自治体があり、取り組み自治体も増えている。

答 若い力を生かし、生き生き・ワクワクする取り組みを通し、人が人を呼ぶサイクルを生み出し、関係・交流人口の増加を目指す。

答 地域経済の活性化や課題解決に繋がる有効なビジネスモデルと認識し検証していく。

問 今年度委嘱された地域おこし協力隊には大いに期待する。

答 若い力を生かし、生き生き・ワクワクする取り組みを通し、人が人を呼ぶサイクルを生み出し、関係・交流人口の増加を目指す。



たかはし まりこ 議員
高橋 真理子 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



デビュー！地域おこし協力隊

自治体職員の退職者数増加

町長 新規採用職員等を計画的に採用する

問 事務事業量に対するプロパー職員数は適正か。

答 震災後の新たな課題対応や国の経済対策等、職員の業務量は増大し負担は大きい。今後、組織再編等によりバランスを図っていく。

問 「報」・「連」・「相」を行いやすい環境づくりを適切に進めているか。

答 気軽に相談しやすい環境や雰囲気づくりに取り組んでいる。

問 女性職員の管理職登用の取り組みと方針は。

答 管理職登用率22%以上を目標に掲げ、今年4月時点で21%である。引き続き目標達成に取り組む。

問 近隣の実例を参考に職場の魅力を感じ取れる研修を。

答 職員向上会において研修会を予定している。研修の在り方も含め検証する。

昨年度実施した地区懇談会の評価は

町長 町づくりに寄せる期待を感じた

問 「地区懇談会」をどのように評価しているのか。

答 身近な生活環境の改善に関する声が多く、地域が抱える課題や町づくりに対する素直な意見・要望と捉えている。

問 457人の参加者数について素直な感想は。

答 行政区毎に開催日や場所・時間について希望を伺い設定した。地区により増減はあるが平均して20人の方々に参加いただいた。

問 各行政区から出された要望に対する回答・対策は。

答 懇談会終了後、地区毎に内容を整理し各区长に回答した。その後、全庁で情報を共有し担当課においてすぐに取り組めるものから順次対応を進めている。

問 6年度当初予算への反映は。

答 道路・河川の維持管理や修繕、除草や立木伐採、地域公共交通の見直しなど、優先度合い等を踏まえ、関連

する予算を措置した。

問 町全体で取り組むべき内容は、どのように進める考えなのか。

答 意見や要望が多岐にわたる中、町（役場）だけでの対応には限界があり、地域との連携や役割を分担する等、協働での取り組みが必要不可欠であると捉えている。

問 今後、各種団体等と懇談会を開催する考えは。

答 各種団体等と様々な場面で意見交換をしており、各分野で抱える諸課題の把握に努めてきた。現時点で改めての開催は考えていない。



いとう ていつ 議員
伊藤 貞悦 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

本町の少子化対策のポイントは

町長 若者の移住・定住の促進である

問 少子化対策は何にポイントを置き実施する考えなのか。

答 新婚・子育て世帯に重点を置いた「移住・定住支援補助事業」による若者の移住・定住促進である。本事業は平成20年度から取り組み、県内最高水準の制度となっている。

また、公約に掲げた「学校給食の無償化」などの事業を展開しており、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組んでいる。

問 現状の移住・定住対策で十分と考えているのか。

答 「移住・定住支援補助事業」は今年度で終了となる。これまでの内容を検証し来年度以降のさらなる移住・定住促進に向け取り組む。

問 若年女性の推計は、町づくりにどのような影響を及ぼすと考えているか。

答 少子化や人口減少対策など持続可能な観点において重要な指標の1つと捉え、将来を見据えた持続可能な町づくりを目指して取り組む。



意見をありがとう

男性にもHPVワクチン費用助成を

町長 国の動向も注視し環境整備をする

問 ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンのキャッチアップ対象者に個別通知を実施しているが、キャッチアップが令和6年度で終了することや、3回の接種完了まで6カ月を要することを周知徹底しては。

答 広報8月号やホームページを活用し勧奨する。

問 子宮頸がん予防講演会を開催しては。

答 親子で直接話を聞くことにより、ワクチ

ンの効果や子宮頸がんの知識を深めることになるため、講演会の開催に向け検討する。

問 9月までに開催しては。

答 「ワクチンと免疫」というテーマで、亘理郡医師会の講演会を9月7日に実施する予定である。

問 日本では2020年12月に、肛門がんなどの予防を目的として9歳以上の男性にも4価ワクチンを接種できるようにになった。男性

へのワクチン接種について周知しては。

答 厚生科学審議会における議論で、費用対効果等に課題があると継続審議になっている。国の動向を注視しつつ、調査研究する。

問 HPVの主要な感染経路は異性間の性的接触である。男性もワクチン接種をすることで、パートナーの命と健康を守るのでは。

答 専門的な見地を参考と考えていく。

問 他県の一部自治体において独自助成制度が開始されており、これは将来の子育て世帯への支援策、少子化対策であり、町民の健康を守るための重要な施策では。

答 国の動向を踏まえ、判断したい。



やまとはるみ 議員
大和 晴美

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

河川の維持管理状況は

町長 現場を確認し維持管理している

問 今年も間もなく梅雨の時期に入る。長雨や台風による河川氾濫等が心配され、地域の安全・安心を守るため、決壊・氾濫等防止対策を伺う。

答 計画的な※浚渫や河川パトロールを行いながら現場を確認し、適正な維持管理をしている。

問 坂元川（県管理河川）上流部の土砂・雑草等がたい積し、川床が埋まっている現状について、管理者である

県に、どのような改善策を要望しているのか。

答 毎年、宮城県町村会を通じ維持管理の徹底、並びに上流部の早期改修と定期的な浚渫を要望している。

問 町管理の河川は、いくつあるのか。

答 八手庭川・谷中川を含め計27河川である。

問 坂元川と同様に、土砂が溜まり、雑草が繁茂している状態が目につく。災害防止の観点から、どのような改善策を実施しているの

か。

答 計画的な改修を実施しているが、通常は、浚渫と河川パトロールを中心に実施している。

問 今年度の河川管理費予算約1300万円では少なく、河川を維持管理できないのではないか。

増額し、安全で安心できる河川管理を検討する考えはないか。

答 全体的な河川の維持管理に対する金額等も含め、良好な河川管理に努めていく。



いわさしゅういち 議員
岩佐 秀一

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

※浚渫（しゅんせつ）
港湾・河川・運河などの底面を浚（さ）らって土砂などを取り去る土木工事

「住まいの終活ノート」を検討しては

町長 先進事例を参考に検討する

問 空き家等対策計画策定事業の進捗は。

答 今年3月に計画が完成した。

問 空き家解体とその跡地の有効活用を促進するため、解体後の固定資産税の減免制度を導入する考えは。

答 昨年12月、特定空き家及び町から勧告を受けた管理不全空き家の敷地については、特例措置を適用しないとする地方税法の改正がなされた。法改正の趣旨や税負担の公平性を踏まえると望まし

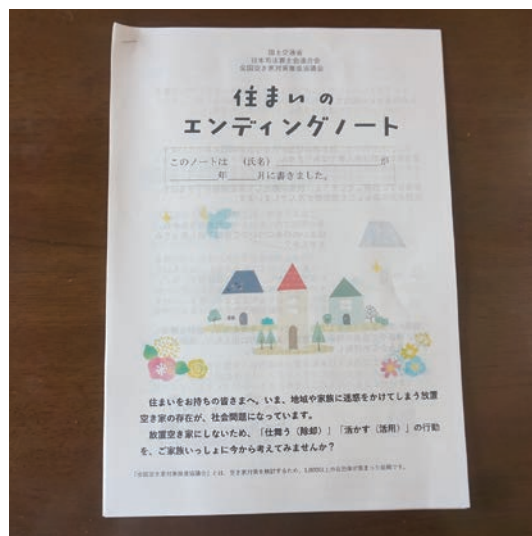
くない。

問 住まいの売却や相続などをまとめた「住まいの終活ノート」を検討しては。

答 残されるご家族等の相談や財産処分に係る負担を減らすとともに、空き家の発生を未然に防止する効果が見込まれる。

問 「住まいの終活ノート」作成に取り組んでいる自治体はいくつかある。本町においても作成すべきでは。

答 先進事例を参考に検討する。



国でも今年度作成



河川整備活動中！

止した理由などを再度検証し検討する。

問 一定の区間を一齐に防除しないと効果が出ないため、ぜひ一齐防除の考えはないか。

答 生産者の方たちと意見交換しながら、今後一番いい方法を相談し進めたい。

問 町の基幹産業である米作農家を守ることは、主食の確保、環境の保全、災害等の防止になるので、ぜひ継続的な支援を期待する。

害虫駆除の支援を

町長 支援の拡充を図る

問 昨年は、カメムシによる斑点米が発生し、コメの品質の低下や、不稔米により多くの農家で減収が発生した。近年の異常気象に伴い、今年も全国的にカメムシの大量発生が予想されることから、令和4年度以降中止している農薬の航空防除を再開する計画はないか。

答 航空防除による一斉防除は、カメムシの防除効果が高いものの、従事する農家の負担等も大きいことから、再開については、要望も踏まえ、休

ハラスメント防止条例の制定を!!

町長 今後の重要な課題として検討

問 去る3月と4月、某課の窓口でカスハラ（住民からのクレームや過剰要求などのカスターマールハラスメントを、通称「カスハラ」と称する）が相次ぎ、職員はうんざりしている。クレーマーは町長と特別な関係にあり、職員は問題提起をためらい、職場の風通しが良くない。

答 特別な関係を持つて何かをしていることはなく、私の方に問題は聞こえてこない。

問 何とも残念な答弁で、常連クレーマーによるカスハラが相次ぎ、職員は困り果てている。確かに指摘のケースはあったが、感覚としては相当減っている。問 その都度解決したと言いが、問題事は繰り返し返され職員は困惑している。

答 仮に指摘された方が同じ事を繰り返したら、その都度必要に応じた対応をする。問 以前に指摘したパワハラ事案に対する、生ぬるい対応が足かせとなり、今回、同一人物による事案が発生しても、毅然とした対応が取れない。

答 終わったことなので答弁は控える。問 その件は、以前被害を受けた職員に再発防止を約束したと答弁した。同じ事が繰り返されているのは、言行不一致の対応だ。

答 その都度対応しているつもりである。問 職員を守るという毅然とした態度が感じられないと、職員の意欲・やる気が低下し、公約実現や住民サービス低下に繋がる。

答 指摘されたことは認識しており、今後も進めていく。問 ハラスメント条例制定に向けて、実態把握の職員アンケートを実施すべき。



議員 藤 俊夫

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

答 重要な課題として検討していければ。問 3月議会を傍聴していた某自治会役員複数から議会を冒涇、民主主義を否定する問題発言があった。区長委嘱規定に「適格要件」を盛り込むべき。



答 区からの推薦者を委嘱しており、町から要件を示しお願いすることは考えていない。

問 円滑な組織運営に欠かせない職員との意思疎通を図り、町長を先頭に一体感のある組織運営の取組状況は。答 組織内でコミュニケーションの取れる関係構築を進めている。問 公約実現に向けて、職員に公約を理解してもらう取り組み状況は。

震災事業の早急なる完遂を望む

町長 早い時期に完遂したい

問 震災復興事業で残された課題、未だ解決の糸口さえ見い出せていないものがある。町東公園は完遂したのか。

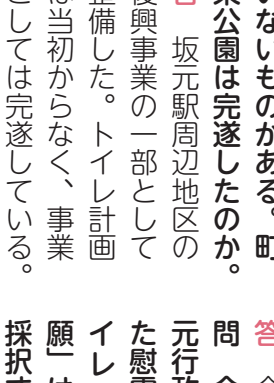
答 坂元駅周辺地区の復興事業の一部として整備した。トイレ計画は当初からなく、事業としては完遂している。問 同じ公園である「つばめの杜」は整備され、坂元は「おもだか館」を利用との考えに疑問がある。利用は施設開館時だけではなく、まして横断歩道も

なく危険である。町東公園にトイレ整備をする考えは。答 今後検討していく。問 令和5年12月に地元行政区から提出された慰霊碑周辺への「トイレ設置を求める請願」は、常任委員会では採択すべきと報告されたが、本会議において請願は不採択となった。故人をしのび、慰霊に訪れている方々が安心して足を運べるためにトイレを整備する考えは。

答 必要である。早い時期に提案したい。問 3月11日までに整備すべきと思うが。答 3・11、彼岸やお盆だけではなく数多くの方々が慰霊に訪れている。絶対必要であり、できるだけ早く建設したい。

問 保育所建設についての検討は。答 今後の元坂元中学校跡地利用も考え、状況に応じ検討していきたい。問 令和4年、県で示した津波浸水想定区域が以前より広がっている。保育所建設時には「命を守る」「誰でも保育」のことを考え、1日でも早くすべきでは。

答 防災的なことも考え、将来を見据えて対応したい。



議員 佐 孝子

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

問 本町は県内でも認知度が低い。町をPRする施策は。答 調査しており、協議・検討をして町に関わりのある知名度のある方に依頼したい。問 町長を中心に町民1人ひとりがPR大使として魅力発信していくことを望む。

問 本町は県内でも認知度が低い。町をPRする施策は。答 調査しており、協議・検討をして町に関わりのある知名度のある方に依頼したい。問 町長を中心に町民1人ひとりがPR大使として魅力発信していくことを望む。

さらなる町の知名度アップを

町長 調査中であり今後協議する



震災直後から支援してくださっている「サーカス」の方々

組織力を活かした町政運営を!!

町長 職員との信頼関係構築に努める

その他の質問

・真摯な議会対応で信頼関係構築を
・言行不一致や思い込みを避け、説明責任を
・相次いだ不祥事対応の不手際に関して、町長として責任の所在を明確に

一人暮らし・認知症入居者の対策は

町長 関係者と連携を図り支援を実施する

問 公営住宅法は、住宅に困窮する低所得者に対して、低廉な家賃で提供することを町の責任として明確に示している。

町営住宅に住む高齢者一人暮らし、二人世帯の入居状況と一人暮らし高齢者、認知症の増加に伴う対策は。

答 500世帯が入居中、うち一人暮らし270世帯、二人世帯153世帯、一人暮らし世帯のうち、65歳以上の高齢者世帯は214世帯で、全体の43%

と高い割合を占めている状況にある。

対策については、生活支援体制整備事業等で、自治会や民生委員、ボランティア等の福祉に携わる関係者と連携を図り、支援を実施している。

認知症の増加に伴う対策としては、認知症に関する普及啓発を図り、当事者や家族が孤立しないように支援に努めている。

問 全国的に一人暮らし高齢者世帯と認知症の方が増えており、本町も例外ではない。

将来的に身寄りのない高齢者が増えていくなか、緊急時のことも含め、町としての対応を考えておく必要があることを指摘する。



えんどう たつゆき 議員 遠藤 龍之



議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



計画内の職場環境改善・人材育成は

町長 おおむね計画どおりに実施できた

問 19年度にスタートした「第6次山元町総合計画」は、前期計画5年間の経過し、新たに後半5年間の実施計画が示された。

問 町職員が住民の福祉増進を図るとした町の仕事を進めて行く上で、計画が示している職員の人材育成、職員が能力を発揮できる職場環境の整備、職員の働きやすい環境の保障、支援の取り組みは、この間山積している町の諸課題の対応、将来のまちづくりにとって、重要な取り組みであることを強く求めたい。

答 新型コロナウイルスの流行や、福島県沖地震が2年続き、計画通りに進められなかったことは事実。

昨年からの研修機会も増えたことから、積極的な研修参加を促し、引き続き自立的かつ戦略的に地域のことを考えて行動できるような人材育成に取り組む。職場環境の整備については、継続的に職員の健康診断やストレスチェックなどを実施。庁舎内に意見箱を設置し、職場環境の改善に

学童保育を、相談対応や情報提供の充実、全ての子どもが居場所づくりと位置付けているが、指導員の業務の位置付けや小学校再編に伴う対策は今から進めるべきと考えるがどうか

その他の質問

その他の議案

○条例一部改正（議案第24・25号）

議案第24号 山元町第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

議案第25号 山元町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

○改正内容

地方自治法改正の趣旨を踏まえ会計年度任用職員に勤勉手当を支給するため改正するもの

	年間支給月数		
	期末手当	勤勉手当	合計
改正前	2.45月	—	2.45月
改正後	2.45月	2.05月	4.5月

○契約（議案第30号）

名称	金額（税込み）	落札率	相手方	工期
令和6年度 道改1号 上平浜原線道路改良工事	7,370万円	90.70%	(株)岩見組	令和7年 2月3日まで

※中浜地区集会所周辺の道路改良工事を実施するもの

○宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について（議案第31号）

○討論（原案に反対）

議案第31号 採決結果（賛成10、反対1）

遠藤龍之 議員 「後期高齢者医療証の廃止は命の問題」 病気にかかりやすく治療に時間がかかる高齢者にとって保険証は命綱。マイナカードを持たない人が資格確認書の取得ができず無保険になれば、医療機関の受診も困難となり、命に関わる事態になることが指摘されている。 別人の診療情報がひもづけられた誤登録では、別人の情報に基づき医療行為や薬剤投与が行われる危険性があり、命に関わる問題として指摘されている。高齢者の医療権を守るため後期高齢者医療証の存続を求め、反対。	議員名	竹内 和彦	高橋眞理子	遠藤 龍之	丸子 直樹	大和 晴美	渡邊千恵美
	採決	○	○	●	○	○	○
	議員名	品堀 栄洋	岩佐 秀一	齋藤 俊夫	岩佐 孝子	伊藤 貞悦	菊地 康彦
採決	○	○	○	○	○	○	—

賛成 ○ 反対 ● 議長 —

令和6年 第2回臨時会

臨時会概要

6月24日に臨時会が開催され、議案1件を審議し全会一致で可決されました。

契 約 【議案第35号】

名 称	金額 (税込) ※万円未満四捨五入	落札率	相手方	期 限
令和6年度 山元町 町民バス車両購入事業	2,541万円	93.84%	(株)ナルケ自動車	令和6年 12月20日まで

質 疑

問 以前の入札で不調となり仕様の見直しをしたとのことであるが、具体的にはどういう見直しをしたのか。

答 当初10月末日を納車期限として入札を行ったが、受注環境により、納車が保証できないということで、応札業者がなかった。
今回は納期限のみ変更し再度入札を行った結果、落札となった。

問 車両本体と附属装備を指定した4台を購入した合計が約2,500万円とあるが、これはすべての車両に同じ機能がついているのか。また、1台の内訳は。

答 車両本体価格はメーカーオプション含み1台当たり約380万円である。
これに、他の附属装備、諸費用等含め1台当たり約630万円程度ということになる。



ぐるりん号が新しくなります

叙勲 受章

おめでとうございます

旭日単光章 (自治功労)

佐藤 晋也氏 (真庭区)



町議会議員を4期にわたり努められ、また、平成22年から平成23年までは議長として、地方自治の振興発展に尽くした功績が認められ、この度旭日単光章を受賞されました。

議会議員在籍期間 (16年)

平成7年5月1日、

平成23年11月12日

町の仕事をチェック!!

総務民生常任委員会

◇公共施設の費用対効果
調査内容 各施設の維持管理費及び利用人数等について調査した。
意見 公共施設には、利用実績と利用収入にばらつきがあり、一部有効活用されていない。
また、施設の老朽化もあり維持管理費が増加傾向にある。
各施設にはそれぞれ設置目的や使用目的があるが、少子高齢化の進展と厳しさを増す財政運営を見据え、公共施設管理計画に沿った中長期的な維持サイクルの構築とトータルコストの削減に向けて、維持管理費の削減と利用者増の施策を図る必要があることから、継続調査とする。



産建教育常任委員会

◇6次産業化の取り組み
調査内容 地域資源を活用した商品開発の呼びかけと、亘理高校と地元企業との連携事業でのオリジナル弁当開発の取り組みについて調査した。
意見 山元ブランド認証品の登録を呼びかけ、認証品を増やすことが6次産業化のさらなる振興につながると考える。
また、近隣自治体と連携したPR活動にも力を入れるべきである。

◇再編小学校

調査内容

再編小学校の検討状況、再編の方針、他市町村の先行事例等について調査した。

意見

これまでの取り組みを踏まえ、今後の計画等に町民の声や意見を取り入れ、より効果がありスムーズに事業が進行できるよう努めるべきである。



関上小中学校 (義務教育学校) 視察研修



現在までのブランド認証品

議員の会議等出欠状況

令和6年4月1日～6月30日 出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：－

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
				竹内和彦	高橋眞理子	遠藤龍之	丸子直樹	大和晴美	渡邊千恵美	伊藤貞悦	品堀米洋	岩佐秀一	齋藤俊夫	岩佐孝子	岩佐哲也	菊地康彦
4	9	火	広報・広聴常任委員会	－	○	－	○	－	－	－	○	○	－	－	○	－
	16	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17	水	産建教育常任委員会	○	○	－	○	○	－	○	－	－	－	－	○	－
	18	木	広報・広聴常任委員会	－	○	－	○	－	－	－	○	○	－	－	○	－
			仙南・亘理議長会議	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
	24	水	亘理地方町議会議長会定期総会	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○
5	8	水	総務民生常任委員会	－	－	○	－	－	○	－	○	○	○	○	－	－
	13	月	宮城県議会震災調査特別委員会視察対応	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
	14	火	県議長会正副会長・監事会	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
	17	金	全員協議会	公	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	20	月	産建教育常任委員会	○	○	－	○	○	－	○	－	－	－	－	欠	－
	22	水	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
	28	火	県議長会臨時総会	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
	30	木	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
	31	金	議会運営委員会	－	－	○	－	○	○	○	－	－	○	－	－	○
6	第2回定例会（6/6.10.11.13）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
	19	水	議会運営委員会	－	－	○	○	－	○	－	○	○	○	○	－	－
	20	木	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
	24	月	第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
			全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○

議長交際費

区分	4月		5月		6月	
	金額(円)	内 容	金額(円)	内 容	金額(円)	内 容
会 費	18,000	船岡駐屯地記念行事 外2件	－		8,000	自衛隊隊友会総会 外1件
慶 弔	3,000	小坂杯 祝儀	32,000	故 岩佐哲也副議長 弔花、香典	－	
その他	－		19,110	宮城県議会視察対応茶菓子 外	－	
合 計	21,000		51,110		8,000	

令和6年 第2回定例会 議案等の審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
報告第2号	専決処分の報告について（賠償額の決定及び和解）	報 告
報告第3～5号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）	
報告第6号	繰越明許費繰越計算書について	
報告第7号	事故繰越し繰越計算書について	
承認第2～10号	専決処分の承認を求めることについて	承 認
議案第23号	山元町茶室条例 ※産建教育常任委員会に付託、令和6年度第3回定例会まで継続調査	継続審査
議案第24号	山元町第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可 決 (全会一致)
議案第25号	山元町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
議案第26号	山元町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第27号	山元町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第28号	山元町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	
議案第29号	山元町地域防災計画について	
議案第30号	令和6年度 道改1号 上平浜原線道路改良工事請負契約の締結について	可 決 (賛成10反対1)
議案第31号	宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	
議案第32号	令和6年度山元町一般会計補正予算（第1号）	可 決 (全会一致)
議案第33号	令和6年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	
議案第34号	令和6年度山元町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	

令和6年 第2回臨時会 議案等の審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第35号	令和6年度 山元町町民バス車両購入事業に係る物品購入契約の締結について	可 決 (全会一致)

請願・陳情の受理

陳情番号	件 名	陳情者等の氏名	結 果
陳 情 第 2 号	ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出を求める陳情書	魚路 優	配 布

すきです
Yamamoto



「さんらいず」 よろしくおねがいします

放課後等デイサービス「さんらいず」 副施設長 保志綾子

「さんらいず」は、2021年4月に花釜区で事業運営を開始しました。利用者の増加により施設が手狭になったため、2024年4月から現在の合戦原区に移転しました。

主な事業は、児童発達支援事業と放課後等デイサービス事業です。

児童発達支援事業は、3歳から就学前までのお子さんを対象に、主に日常生活での基本的な動作の支援から、必要な知識や技術の習得、集団生活への適応など日常生活を送るための支援を行うサービスです。

放課後等デイサービス事業は、支援が必要な6歳から18歳までの方を対象にした福祉サービス事業です。

子ども達が目標に向かいながら楽しくいきいきと活動できるよう、年間を通して活動や行事を計画しています。今年度に入りいちご狩り、七夕会などの行事を行いました。

今後、公園や施設・催し物等のお出かけ、買い物、スポーツ大会（ミニ運動会）、花や野菜の世話、その他季節に合わせた行事をみんなで作り上げながら楽しく活動していきたいと思っています。子ども達は、活動を通して日々たくましく成長していると感じます。

新しい場所で事業が始まったばかりですが、地域の方々と共に交流を深めながら活動を広げたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

◇◇お知らせ◇◇

委員	委員	委員	副委員長	委員長
伊藤 貞悦	品堀 栄洋	丸子 直樹	高橋眞理子	岩佐 秀一

〈議会広報・広報常任委員会〉

令和6年 第3回山元町議会定例会（予定）

会 期：9月4日（水）～9月24日（火）
開 会：午前10時
本会議：9月4日・6日・9日・11日・24日
（一般質問：9月6日・9日）

議会のホームページをご覧ください

山元町議会

検索



編集デスク

暑中お見舞い申し上げます。

令和6年第2回定例会も終了し、「議会だより」第206号発行の準備を進めてきました。

広報委員にとって、担当した議会だよりは、写真撮影から文字の配置やレイアウト等、委員全員で工夫し発行するもので1号1号が宝物です。

町民の皆様にとって「議会だより」の内容が身近で読みやすく、興味関心が高くなる紙面作りに努めます。

議会も町民の皆様が「安心して暮らせる」「住んでよかった」町づくりを目指します。今後ともよろしくお願いいたします。

（委員 伊藤 貞悦）